

今後の産業廃棄物最終処分場の在り方検討懇話会について

(平成30年11月30日 第1回懇話会資料)

1 懇話会の設置目的

- 「クリーンプラザみやぎ」は、昭和54年に地元産業界や市町村等からの設置要望を受けて、県が関与して整備した公共関与による管理型産業廃棄物最終処分場である。
- その供用開始から約40年が経過し、これまで県内の産業活動を下支えしてきたが、当処分場の残余容量は残りわずかとなりつつある。また、県内では民間による最終処分場の整備も進んできているが、これらの処分場の残余容量も減少してきている。
- 今後も県内において産業廃棄物の処理を安定的に行ない、環境負荷の少ない経済活動を持続させるため、望ましい産業廃棄物最終処分場のあり方を検討するものである。



- ◎ 最終処分場に対するニーズや期待などを把握した上で、将来的な産業廃棄物排出量などを推計し、公共関与で処分場を整備する必要性や、新たな処分場の施設規模、求められる機能などを議論していただき、これらの意見を踏まえて県は基本方針を取りまとめる。

2 検討スケジュール

- 計4回程度の懇話会開催を予定。
- 最終回（第4回）の懇話会では、県が作成する基本方針案を提案し意見交換する。
- すべての懇話会の終了後、懇話会での意見等を踏まえて、県は基本方針を決定する。

年	H30 年度					H31 年度				
	11/30	12	1	2	3	4	5	6	7	8
予定	第1回			第2回			第3回		第4回	基本方針の決定

- ① 懇話会の設置目的
- ② クリーンプラザみやぎの概要
- ③ 県内の産業廃棄物の現状

- ① 現処分場の残余年数と最終処分量の将来推計
- ② 公共関与処分場整備の必要性

- ① 今後の最終処分場のあり方

- ① 基本方針案の協議